



2004年3月号  
民主党号外  
《墨田区版》  
民主党広報・宣伝委員会  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988 (代表)



あべきみこ事務所  
〒131-0043 墨田区立花4-1-8 Tel.03-3610-0777  
★URL: <http://www.abekimi.net> ★e-mail: [labekimi@abekimi.net](mailto:labekimi@abekimi.net)

平成16年度の予算特別委員会が3月2日から15日まで（実質9日間）行われました。墨田区では4つの重要施策を柱に予算案が出され、17人の予算特別委員が議員の代表として質問しました。

私は予算特別委員ではありませんので期間中、先輩議員の方々の議論を傍聴いたしました。また3月17日には、私が所属しています区民文教委員会があります。



### ◆3月2日から墨田区議会予算特別委員会が始まりました！◆

予算特別委員会の採決は3月15日に行われ、委員会の決定を受けて本会議の中で採決されます。結果については次回の活動レポートで報告させていただきます。

### ◆区民文教委員会で学校選択制について質問してまいります！◆

平成14年に中学校・15年に小学校の学校選択制がはじまりました。また平成9年に『墨田区立学校適正配置実施計画』に基づき第一順位グループ（吾孺第三・曳舟中学校を統廃合し）文花中学校（第二吾孺、西吾孺、文花小学校を統廃合し）押上小学校が新設、第二順位グループ（第五吾孺・更正・木下川小学校を統廃合し）八広小学校が設立され、17年度には第三順位グループ（隅田小学校・隅田第二小学校）が統廃合され隅田小学校になります。

このように学校の統廃合が進むなか、学校選択制によって学校の生徒数が募集人数を超え、抽選が行われる学校と極端に生徒数が減ってしまう学校の差がはっきりしてしまいました。

このままではある中学校ではこの4月から各学年1学級になってしまいます。もともと学校適正配置は少子化により区立学校の小規模化が進み、児童・生徒の学習や学校行事の運営などで、学校教育の目的の一つである集団教育の長所が生かせない状況が生じるため、適正な学校規模で学校運営を行うために実施されたにも関わらず、もう一方では学校選択制により希望する生徒数が少なく、このままでは学校生活や行事にも影響を及ぼしてしまうような状況です。

このようななか、学校側や保護者の方々が生徒数を増やすために努力されていることは、学校関係者や地域の方から伺っています。しかしながら学校側の努力だけではこのような状況を回復することは大変難しいものがあり、教育委員会としてもいろいろの方面から支援していかなくてはならないと思います。教育委員会がどのような対応を考えているのか、また学力テストが16年度から年2回実施が予定されていますが、このテスト結果の公表の仕方によってはますます学校の生徒の人数の偏りに拍車をかけるようなことも懸念されます。学力テストの結果を公表するのか、公表するならどのような方法で行うか、どのように子供たちの授業改善に活用し、今後の学校運営に役立てるのかあわせて質問していきたいと考えています。質問の結果は次号の活動レポートに報告させていただきます。

裏面には、日頃先輩議員としてご指導いただいております参議院議員の内藤正光さんを紹介しています。内藤正光参議院議員は政策の1つにサラリーマンにとって不公平な社会制度保障の建て直しを掲げています。